

分野連携企画報告書

行事（企画）名 M&M・CMD若手シンポジウム2023

行事URL <https://www.jsme.or.jp/conference/mmdcmdconf23-2/index.html>

1.開催日・会場

2023年8月7日（月）～9日（水）、KKRホテル金沢（石川県金沢市）

3.企画内容

博士後期学生、ポスドク、助教、企業の技術者など、40歳未満の若手間の交流を促進させ、また今後の日本機械学会を牽引する人材との強力なパイプをつなぐため、2泊3日の合宿形式でのシンポジウムを行った。また、材料力学部門と計算力学部門との合同企画とすることで、幅広い研究交流を実現し、実験と解析との融合的な視点を取り入れた。また、シニアの研究者との議論や基調講演等を通じて、若手研究者がさらに研究分野の幅を広げるための機会も提供した。

4.連携の成果

材料力学部門と計算力学部門でセッションを分けることなく、比較的共通の話題に対して1つのセッションを構成することにより、専門分野であるかどうかに関わらず、学術的な意見交換を実施することができた。一部パラレルセッションもあったが、なるべくシングルセッションで実施することにより、若手参加者がより多くの方々に対して自己アピールをすることができた。さらに、若手参加者は相部屋とし、また2日間連続で懇親を深める機会を提供することにより、親密な交流を促進させることができた。両部門のシニアの方々からも貴重なコメントをいただくことができ、若手参加者をエンカレッジすることができた。

2.企画部門

材料力学部門、および計算力学部門

5.今後の課題（苦労した点、課題点、他の企画へのアドバイス等）

最終的に32名の講演者に参加頂くこととなったが、学会インフォメーションメールだけでは参加者の確保に限界があったため、35歳以下と規定した参加資格を40歳以下に拡大し、さらに実行委員から個別に声掛けを行うことにより最終的に十分な講演者数を確保することができた。部門合同でのシンポジウム開催のメリットをニュースレター等を通じて部門員に伝えることで、今後のシンポジウムにおける参加者の確保に大きな心配はないものとする。ちなみに、今回も依然として参加者は大学の教員と博士課程学生が中心であり、今後は産業界からの参加者をいかに増やしていくかが課題である。

なお、若手シンポジウムに対して、開催頻度を増やしてほしいという要望は多い。今回のように、分野連携企画とし、主担当を両部門で交互に担うなど、運営負担を軽減できれば、隔年もしくは毎年の開催も可能になるものと考えられる。

分野連携企画におけるプログラム編成は難しいが、分野横断型のセッションを構成することができれば、分野間の学術交流を活性化することができる。懇親会を実施する上では、共通する話題も多く、分野の違いなどは全く気にならなかった。若手とシニアとの交流も活発に行うことができ、互いによりよい刺激になったように思われた。